

・香港で季節性インフルエンザの流行が発生

香港で7月になり季節性インフルエンザの流行が発生しています。香港衛生局によれば5月から7月中旬までに300人近い重症例が発生し、205人が死亡しました(香港衛生局 2017-7-20)。インフルエンザの種類は従来から流行しているA(N3N2)型によるもので、新型インフルエンザの流行ではありません。香港に滞在する際には、手洗いを励行するとともに、発熱などの症状がみられた場合は、マスクをして医療機関を受診するようにしましょう。なお、ワクチンの効果は約半年ですので、昨年秋に接種した方はすでに効果がなくなっていると考えられます。

・中国での鳥インフルエンザの流行は鎮静化

中国では昨年秋から鳥インフルエンザ H7N9 型の流行が発生しています。6月も35人の患者が発生していましたが、7月には鎮静化している模様です(外務省・海外安全ホームページ 2017-7-18)。WHO は今回の第5波流行を解析しており、流行のピークは2月にみられたとしています(WHO 2017-7-19)。内陸部の新しい地域(北京や雲南など)でも流行がおきていますが、ほとんどが鳥からの感染によるもので、ヒトからヒトへの感染は現時点ではみられていません。

・アジアのデング熱流行状況

東南アジア各地でデング熱の流行がみられています。患者数は例年と同程度か、やや多い状況です(WHO 西太平洋 2017-7-17)。南アジアのスリランカでは、今年になりデング熱患者が急増しており、7月初旬までに患者数が8万人に達しました(WHO 2017-7-19)。これは例年の4倍以上の数で、患者の発生は首都コロンボなどで多くなっています。ウイルスの種類としては2型が多く検出されており、これは従来流行していたタイプと異なります。スリランカに滞在する際には蚊に刺されない対策をとるとともに、発熱がおきた場合は早目に医療機関を受診しましょう。

・マレーシアで狂犬病患者発生

マレーシアは狂犬病の発生がほとんどない国とされてきましたが、今年になりサワラク州(ボルネオ島)の Serian で4人の患者が発生しました(ProMED 2017-7-9)。同国でイヌなどの動物に咬まれた場合は、ただちに狂犬病の発病を予防するためのワクチン接種を受けてください。また、長期滞在者は事前のワクチン接種を検討してください。

・ケニアのナイロビでコレラ患者が発生

ケニアの首都ナイロビのホテルで、6月下旬に開催された会議の参加者146人がコレラを発症しました(WHO 2017-7-21)。また、7月中旬にナイロビ市内で行われた物産展の参加者136人もコレラを発症しています(WHO 2017-7-21)。ケニアでは今年になりナイロビとその周辺で1200以上のコレラ患者が

発生しており、このうち 14 人が死亡しています。ナイロビには日本からの旅行者が夏休みシーズンに増加しますが、滞在中は飲食物に十分注意しましょう。

・西ヨーロッパでの麻疹の流行

西ヨーロッパ諸国での麻疹の流行は 7 月も続いています。イタリアでは 7 月中旬までに患者数が 3500 人以上にのぼっており、その多くが 20~30 歳代の患者です (WHO ヨーロッパ 2017-7-11)。ドイツでは 7 月初旬までに 780 人の麻疹患者が報告されており、これは今年の 5 倍以上の数になります。フランスでも約 300 人の麻疹患者が報告されています (ヨーロッパ CDC 2017-6-22, 7-14)。なお、米国 CDC はフランスへの渡航者で麻疹ワクチンの接種が不完全な者に、追加接種を受けるように勧告しています (米国 CDC 2017-7-7)。

日本では 20 歳代後半~30 歳代の世代で麻疹の免疫力が低く、この世代の人が麻疹の多発国に滞在する際には、事前にワクチン接種を受けることを推奨します。

・中南米でのデング熱、チクングニア熱の流行

中南米各地で蚊が媒介するデング熱、チクングニア熱の流行が報告されています。米州保健機関の報告では、今年になり中南米でデング熱の患者は 30 万人発生しています (米州保健機関 2017-7-7)。また、チクングニア熱の患者は 6 万人で、このうちの半数以上はブラジルで発生しています (米州保健機関 2017-6-30)。チクングニア熱は発熱とともに強い関節痛をおこすことが知られています。なお、同じく蚊に媒介されるジカウイルス感染症の患者数は、ブラジルでは 2017 年になり大幅に減少している模様です (米州保健機関 2017-6-29)。